

事務事業名 防犯に関する事務事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：63

施策：	08	防犯対策の推進	財務コード	01020111-02-00
基本事業：	02	犯罪に強い地域づくり	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	割合	地域（行政区又はコミュニティ）における防犯活動に参加している市民の割合 防犯灯の設置要望対応率	担当課	危機管理課
			担当係	生活安全・防犯担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会、筑紫地区防犯協会の活動に対し負担金の支出を行うもの。 【筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会の活動内容】 地域安全運動 「一斉街頭活動の日」における活動 広報啓発活動 各分科会（防犯・少年非行防止・交通事故防止・防火等）活動 【筑紫地区防犯協会の活動内容】 季節地域安全運動 会議・研修会等 地域安全活動 防犯広報活動 等				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		安全安心まちづくり活動を通じ、防犯パトロール団体の立上げや青パト隊の設置について助言等を行っている。また、市に登録された地域防犯活動推進団体に対し、防犯パトロール車（青パト）の貸出しを行っている。				
防犯等の活動を助成することにより、市民の防犯意識の普及、向上につながっていく。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
街頭犯罪発生件数	件	420	363	400	350			
5. コスト								
事業費	計	千円	5,157	5,085	5,293	5,529		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	5,157	5,085	5,293	5,529			
正職員人工数	人工	0.4	0.4	0.4	0.4			
正職員人件費	千円	3,198	3,236	3,226	3,194			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	8,355	8,321	8,519	8,723			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	<状況>重点抑止罪種件数が減少しており、成果が上がっているものと考えている。 <原因>コミュニティ、自主防犯組織等が主体となって防犯パトロールを実施している。 【筑紫野市重点抑止罪種発生状況】 H23年中：795件、H24年中：775件、H25年中：714件、H26年中：658件、H27年中：613件、H28年中：608件、H29年中：420件、H30年中：363件 参考 重点抑止罪種（H29年）：性犯罪・侵入盗・特殊詐欺・車上ねらい・部品ねらい・ひったくり・万引き

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
【防犯協会】昭和30年10月1日「筑紫地区防犯協会」設立。平成26年4月1日、春日警察署新設に伴い、「筑紫野・太宰府防犯協会」として発足。	【筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会】ボランティア団体、警察、消防、行政、関係機関と一致団結して犯罪・交通事故等を削減していくこと目的に設立。